

にじいろ通信

鳥たちの子育ての季節がやって来ます。宇治の植物園では、もう少しすると、かもの赤ちゃんが、よちよち親の後をついて歩く姿を見ることができます。微笑ましい光景です。

オーストラリアのある博士が、ハイロガンの卵を、ガチョウに羽化させました。生まれた雛は、ガチョウが親だと思いついて歩きました。その博士、卵のうち一つを、うっかり自分の前で羽化させてしまいました。するとその子は博士の後を追う様になり、群に戻しても、彼のところに戻って来てしまったそう。刷り込み現象を発見した博士のはなしです。

その博士、それからどうしたと思いますか？親ですからね。ひなを自分の寝室で育て、一緒に庭を散歩し、池に入って泳ぎ方も教えたんですって！長い子育て期間、ハイロガンの親となって奮闘した博士の話でした。

妊婦さんの職員が、パイの部屋にやって来た時、Fさんが近くに来られて言いました。「お腹、出ますね。」他の職員が、「何が入っているのかわかりますか？」と聞くと、少し間を置いて、蚊の鳴くような小さな声で「赤ちゃん！」と言ったのです。その後、震える手をそ〜っと伸ばされてお腹に触れさせてもらった時、心がいっぱいになったのだと思います。泣いていました。あったかい出来事でした。たくさん触ってもらった赤ちゃんは、幸せになるそう。赤ちゃんに、幸せがいっぱい来ますように！Fさんに幸せがいっぱい来ますように！

(名手)



感謝の言葉に変えて

事務局 池永美智子

土曜日の朝「また明日ね。」との世話人さんの笑顔にハイタッチで応える息子のグループホーム生活もこの春には20年目を迎える。

20年近く前、枚方市障害者福祉のオンブズパーソンであった故小倉襄二先生（同志社大学名誉教授）が、障害が重い人たちがグループホームをやっていることについて話を聞きたい由で市の職員と作業所の古い建物にお越し頂き、初めてお会いした。その後小倉先生には法人設立後も理事に就任して頂き10年超の長い年月にわたり、ご助言、ご指導をいただいた。そのお陰で今日を迎えることができたことには、感謝の念に堪えない。

若いうちに自立を目指してグループホームをとの同じ思いの森さんとその後、NPO法人を設立し、第1号の「あい愛の家」を立ち上げた。図らずもその後、社会福祉法人の設立、運営に奔走することになったが、その生活を支えてくれたのも障害の重い息子のホームでの生活があったからこそとこれまた感謝しかない。

私自身の障害者観は、息子とともに歩いてきたこれまでの不合理さや偏見への怒りがエネルギーとなっていることは確かで、ずいぶんと学ばされてきている。

「こういう子は、こうだから・・・」と排除の論理ですべての権利も居場所も奪われていくことにはこれからも声を上げていかねばと思う。

30年間のこれまでの出来事で、特に心に残っていることは、第3号の新しいホーム生活が始まったころのUさんの問題行動に「ホーム生活は無理だ。」との声に作業所の女性職員が当時「私が一緒に泊まる。」と胸を張って支えていこうと強い姿勢を見せてくれたことは、彼女の支援することへのゆるぎない信念を感じて感動したことを覚えている。

また、当時からの世話人さんもその頃のことを懐かしく思い出して語ってくれる言葉に、あきらめず皆の協力があったからこそ現在の彼の居場所があるのだと想いを強くさせられた。

また、作業所の一泊旅行でHさんの参加について職員会議で話し合った時に、皆と行動を共にすることが苦手であるハンディ故、先に無理だと結論を出さずに、とに角やってみようと提案させて頂き、職員全員の覚悟と決意をもって見事に2日間を無事に過ごしてきたことは、その後のHさんもさることながら職員も自信が付いたのではないかと思う。

どんな場合でもやらない理由はいくらでも挙げることができる。しかし大切にしていこうとは何なのか、どんな状況でもやってみようとの前向きな姿勢は忘れないでほしいと最後に伝えておきたい。それには職員同士のチームワークと常に心学塾の理念でもある、重い障害者の心に学ぶという事を忘れずにいてほしい。

そして、職員は常に“良い支援”とは何かと自分に問いかけながら、保護者から全面的に信頼を寄せてもらえるよう、一保護者でもある私からの願いである。

親しい友人から「退職金は？」との言葉に一瞬「えっ！何もないよ。」とすかさず返したが、この30年間は、私自身の“健康とやりがい”というお金には代えがたいものを頂き、それに勝るものは何もないとの心境である。清々しく去ることが出来、ただただ皆様に感謝しかありません。

これからの法人心愛の益々の発展を心より願っております。

本当に長い間ありがとうございました。

コロナウイルスの勢いが止まりません！

新型ウイルスの勢いが止まりません。

様々なところに影響が出ています。

情報に流されることなく、体力をつけて、

自分の身体は自分で守りましょ！

心学塾では手洗い、アルコール消毒を徹底しています。(名手)



松菱職員に第3子(女の子)が誕生しました



松菱碧莉(あおり)です。

2月14日 体重3080g

すくすく元気に大きくなってね。



～ほっと一息～

ある土曜余暇でのやり取り

コーヒー買ってや、買ってやと、何度も何度も、、、

いじわるで、そんなに何度も何度も言うなら、買うのやめます。

すると、「あーん、ちゃんとするから」と手を合わせて拝まれた。コーヒー買う前も後も、ちゃんとしてましたよ、Sさん！ (山添)

今月のお米は

締め切りは、6日（月）

お渡しは、16日（木）以降となります。



4月のセボン販売は22日（水）です。

4月の販売予定

4月7日（火）ビバモール販売

4月8日（水）市役所バザー

4月13日（月）ビバモール販売

4月15日（水）藤坂バザー

バザー用品（食器、衣類等）・アルミ缶・古紙・牛乳パックの提供をよろしく
お願いします。アルミ缶は特に不足しています。

心学塾作業所 072-859-9194

※社会福祉法人心愛後援会総会を予定しております。

日時：5月24日（日）13時30分

場所：心学塾作業所2階作業訓練室2、3